

# クレアールスタイル 愛知県名古屋

水野弘子 代表

独身時代に、併用住宅や病院、歯医者などの設計に携わったのち、32歳でフリーに。5年前にクレアールスタイルを立ち上げ、オーダーキッチンや収納家具のデザインを専門に手掛ける。



## 朝の時間を有効活用し 仕事の効率アップ！ 18時以降をママの時間に

小学1年生の娘さんを育てながら、オーダーキッチン・収納家具を専門とする設計事務所の代表を務めるクレアールスタイルの水野弘子さん。多忙を極める水野さんの働き方に迫る。

常に複数の引渡し物件、打ち合わせを抱え、毎日忙しく過ごしている水野さん。小学1年生とまだまだ小さい子供を育てながら、代表としての仕事と母親業を両立させている。

水野さんが日々心掛けているのは、18時以降はママの時間と決め、それ以外の時間に集中して仕事を終わらせること。「独身の頃は時間を使えるからといって、夜中まで無制限に仕事をしてしまうこともありました。出産してからは、夜は子供のコミュニケーションの時間と決めていたので、ぎゅっと集中し、時間にメリハリをつけています」

朝は早いと3時に起床。他社との差別化になるプランづくりには欠かせない情報を収集したり、構想を練ったりしている。また18時には店仕舞することを周囲に宣言するこ

とも重要な。

「私は夜の18時以降はママの時間と決めているので、現場が動いている職人さんに帰らせてもらいますし、職人さんたちも、いいよ、やっておくわ」と協力的です。でも、理解してもらうには努力も必要で、7時とか朝早くに現場に行ったりもします。朝の3時に起きて図面を引いたり、昼食せずに仕事をしたりすることもあります」

このように働き方にこだわるようになったのは、結婚や出産を経たことで、家事体験が設計の仕事に大きく生きてくることを実感したからだ。

「家事をしたことのない設計者の話はどうしてもリアルに欠けてしまいますし、分かりますよ」と共感できるかどうかで、お客様に与える信頼度も異なります」ところが、建築

## 水野さんのある1日



## close up

### プランの引き出しで決断力を早める

朝は情報収集から始まることが多い。インターネットでインテリア画像を検索し、ストック。プランづくりのヒントにする。その他デザインの参考になる洋書も沢山持っており、インスピレーションを得ている。引き出しを増やしておくことでプランづくりの決断も速くなる。



業界は夜型の人が多い。夜に打ち合わせができないからといって、使えない人材と思われてしまうことも。「仕事と家庭の両立がうまくいかず、諦めて仕事を辞める人も多い。ですが一回仕事を辞めると、クレームの多い業界ということもあり、心理的に壁ができて戻りにくい。まずは細く長くでも仕事を継続していきけるよう、自分らしい働き方を模索してきました」

そんな水野さんが子育てで心掛けているのは、子供の前で仕事の愚痴を言わないこと。「子育てをしながら働くなら、母親はキラキラ輝いてほしい。仕事に手抜きはありえないですし、仕事を楽しんでいる様子を見せたいと思います。働く背中を子供に見せて、お母さんも頑張っているんだな」と思ってもらえたら、子育てでも成功ではないでしょうか」

## 水野さんに5つの質問

### 1 何故働くのか

インテリアの仕事が好きだから。泳ぎながら寝るマグロのような体質だから(笑)

### 2 休日の過ごし方

子供とお出掛け。最近では鍾乳洞に出かけた。

### 3 モチベーションアップに欠かせないもの

子供の笑顔。完成時、施主に喜んでもらった時。施主の素敵な生活のお手伝いができることが喜び。

### 4 若手女性へのメッセージ

独身や子供のいない時期など動ける時に、キャリアや人脈を築いておくこと。

### 5 リフォームの仕事で最も大切にしていること

施主の言うとおりに作るのではなく、メリット・デメリットを必ず伝えた上で+αの提案をする。